



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3726-3411  
 URL http://sef-jpn.org

**巻頭のことば 「会」と「会議」**

顧問 村瀬 禎男

企業・団体を初め、いろいろな組織では会議が頻繁に行われる。また、総会、取締役会、理事会などのように会と呼ばれる集まりもある。辞書によれば「会」とは集まること、同窓会のような組織のことであり、これに対し「会議」は集まり、評議し、議決するとある。

以前は株主総会など15~20分くらいで終わらせることが望まれ、総会屋が活躍した時代もあった。株主総会は会社の経営状況などを株主に説明し、承認を得るのが目的であるから「会」であって差し支えないだろう。

多くの企業では数十人の取締役が出席する取締役会でも一部のTOP達が決めたことを上意下達し、あるいは報告事項に大半の時間を割く会社が多かったようだ。しかし最近では執行役員制が取り入れられ、取締役の人数は少なくなり議論が本格的になっていると聞く。本来取締役会、理事会などは「会」ではなく「会議」として真剣な討議が行われる場であることが望ましい。

しかし、企業にあつては運営会議、営業会議を初め数多くの会議が行われ、議論ばかりで結論の出ないケースもあるようだ。こうした状況で組織内の会議の在り方に付いて考える時

『 散じて会さず 会して議せず 議して決せず 決して行わず 』

と言うようになることを避け、効率的で実行可能な決議を行える会議の運営が強く望まれるところだ。

**09月度理事会 より (第113回 09月26日)**

1. SEF 事務所移転の件／審議・仮決定	4. 会員意見交換会開催の件／審議・承認
2. 事務局経費節減の件／審議・方針決定	5. NPO 保険の件／報告・了承
3. 「SEF フォーラム」開設の件／審議・承認 (会員意見交換会に提案)	6. 平成24年8月度会計収支報告／報告・了承
	7. 25年カレンダー配布の件／報告・了承

**事業報告 環境業務支援事業成行**

担当役員 佐立理事

前期より当部の活動分野を廃水処理・水処理分野、省エネ等に拡げてきました。その結果、前期は「廃水浄化装置の販売」と「水処理膜提携先の開拓」の業務支援契約を結び、今期は「エアアーナイフシステムの販売」の業務支援契約を結ぶことが出来ました。「エアアーナイフシステム」は水切り、乾燥などの作業を従来の高圧空気ではなく、大容量の低圧空気で行うため、エネルギーコストが安くなります。本装置は大容量の風量を得る為、最大2万回転のプロワーを採用し、消費電力が10分の1ほどになった例が報告されています。省エネが叫ばれている現在、最適システムであり、適用分野は食品・飲料産業ではPETの水切り乾燥、電子機器産業ではトナーカートリッジの乾燥、自動車産業では部品鍍金後の乾燥などに採用されています。その他、医療機器産業、化学工場、建設資材産業など多くの分野に採用されています。

このような環境業務支援事業部へのテーマがありましたら、当部にご提案ください。

**SEFサロン 第72回 報告 / 第73回 案内**

担当役員 白崎理事

《 第72回報告 》 講師：古宮正隆氏 演題：「インドネシアを見る視点とインドネシアのポテンシャル」(9/26)  
 三菱商事の古宮正隆氏から、現代のインドネシアはBRICsの次と言われる成長性と持続性が期待され、完全な民主主義国であり、アジア最大の資源エネルギー輸出国であり、そして世界で一番親日国であります。そのインドネシアについて歴史・文化、政治、経済、国際関係の視点から分析し、日本はどう付き合ったらよいかのご講演でした。10年後の中長期視点で中国台頭を勘案してアセアンのGDPの5割を占める大国インドネシアとより連携を深めるべきと結ばれました。氏のインドネシアに関しての長い経験からエピソードを含め大変興味深いお話が同え、会場からもお多くの質問があり盛会でありました。

《 第73回案内 》 日時：2012年11月28日(水) 18時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」  
 講師：未定 演題：未定

**08月度会員動向**

正会員入退会 ナシ	08月末現在の会員数	正会員—29名
準会員入退会 ナシ		準会員—32名
		賛助会員—2社

